

テイクハ、日光キスダ、葉長大ニシテ厚ク硬シ、夏月花ヲ開ク、形キスダヨリ大ニシテ金黃色、コレモ金萱汝南ト云フ又一種スジクハンザウト云アリ、葉ニ白キ縦條アリ、琉名文萱花中山傳信錄又二種ベニスダト云アリ、葉細小ニシテ花紅色、集解ニ云フ所ノ紅萱ナリ、又一種水中ニ生ジ、小花ヲ開キ黃色ナル者アサ、コレヲ水スダト云、集解ニ引トコロノ水葱是ナリ、其他品類多シ、

〔剪花翁傳三月開花〕唐萱草 花一重、色極黃隈なし形よく抱へて力あり、開花四月中旬、方えらばず、地中濕、土塵交、肥淡小便、寒前にそぐべし、分株秋彼岸すべし、葉立て堅く、莖枝とも約りて出るをもて、插花に最佳也、萱草に勝れるものなり、

並萱草 わすれぐさ、花八重一重、色黃にして黃赤の隈あり、開花四月下旬、方撰ばず、地中濕、土塵雜、肥小便、分株秋彼岸、同種班入葉あり、

〔萬葉集三雜歌〕帥大伴卿歌五首○四首略

萱草吾紐二付香具山乃故去之里乎不忘之爲、

〔萬葉集四相聞〕大伴宿禰家持贈坂上家大娘歌二首○二首略

萱草吾下紐爾著有跡鬼乃志許草事二思安利家理、

〔伊勢物語下〕昔男後涼殿のはざまをわたりければ、あるやんごとなき人の御つばねより、わすれ草をしのぶ草とやいふとて、いださせ給へりければ、たまはりて、

忘草生る野べとはみるらめどこは亥のぶなり後もたのまん
〔枕草子八〕故殿の御ふくのころ、六月卅日の御はらへといふ事に出させ給ふべきをしきの御ざうしは方あしとて、宮のつかさのあいたる所にわたらせ給へり、○中女房庭におりなどしてあそぶせんざいにはくわんざうといふ草をませぬひておほくうへたりける、花きはやかにかさなりて咲たるむべくしき所のせんざいにはよし、